

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	矢作川流域による環境整備事業
事業主体 (連絡先)	根羽村
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,598,400 円

事業内容

上流域の根羽村と下流域の安城市は、矢作川を通して30年以上の交流があり、毎年、安城市内の全中学1年生を対象に、「安城市茶臼山野外教育センター」で野外活動を体験しています。体験プログラムの中には、遊歩道散策が組み込まれ、毎年多くの方に利用されています。現在まで安城市内に在住の40歳以下の方は、根羽村での野外活動を体験したことになり、ここ10年間で約1,800人から2,000人の中学生が毎年来村している状況です。この他にも様々な団体が水源の森を訪れて、遊歩道散策を行っています。今後も遊歩道の利用が見込まれることから、利用率の低下に繋がらないためにも、整備することで、後年度以降も安全に森林散策ができる遊歩道にしたいと考えました。今回は安城市が毎年企画している「わくわくネイチャースクール」という環境学習が当村で1泊2日の日程で行われており、環境学習を目的としてこのプログラム内で階段整備を行いました。

事業効果

- ①今回は環境学習の一環として、夏休みを利用して安城市の小学生が当村で1泊2日の環境学習のひとつのプログラムとして遊歩道の整備を行いました。子どもたちは、自らの力を使い、整備を行いました。この体験を通じて、道具の使い方や作業方法など、普段の生活で味わえない体験ができ、達成感を味わう姿が見られました。
- ②矢作川水源の森内にある遊歩道は毎年安城市の全中学1年生が環境学習の一環として利用をしています。遊歩道の利用頻度も高いことから新たに整備したことで、後年度以降も安心安全に利用することができるようになった。

今後の取り組み

後年度以降も引き続き遊歩道の整備が必要な部分については、安城市との話し合いの中で進めていくとともに、可能であれば、子どもたちと一緒に整備していけるようなプログラムを生み出していきたい。また、水源の森の遊歩道が永年に渡って環境学習の場となるようにしていきたい。



【遊歩道内の階段整備体験】

【目標・ねらい】

- ①当村では、矢作川を中心とした流域連携による地域づくりに力を入れてきました。特に矢作川の下流域にあたる安城市とは30年以上に渡って交流を続けています。下流域の子どもたちが上流域で森林整備や環境保全に対する意識を高めてもらうためのひとつとして、遊歩道の整備を行う。

※自己評価【 C 】

【理由】

当初、安城市の中学生を対象としていたが、都合上、小学生に切り替えたため、対象年齢に合わせたプログラムとなった。